

そっけん
息軒だより
三計の教え



令和5年度10・11月号(第40号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 徳村光郎 館長 川口眞弘
〒889-1605

宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234

FAX 0985-84-2634

e-mail sokken.yasui@pic.bbq.jp

<https://yasuisokken.jp>

一日の計は朝あしたにあり
一年の計は春はるにあり
一生の計は少壮しょうそうの時にあり



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

(文責：川口)

今年も9月23日、息軒の日 盛大に ✨ 🌈

明治9年(1876)9月23日、江戸から明治にかけての大儒学者安井息軒は最後の三計塾の所在地となった東京は土手三番町、畳の総数140枚を数える屋敷で、家族や谷干城はじめたくさんの弟子に見守られながら、亡くなりました。最後を看取ったのは江戸時代御典医なども務め、息軒のかかりつけの医者にして、後にのど飴として有名になった浅田飴を考案した名医、浅田宗伯そうはく。死因は長年患っていた癖飲症へまいんしやう(胸に激痛を伴う病気)でした。

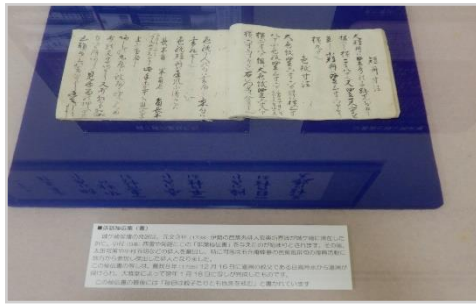
迎えた本年9月23日9時から、まず宮崎市安井息軒記念館の先人廟前で息軒をはじめ、郷土の発展に尽くした幾多の先人たちの偉業を顕彰する「先人祭」が市の主催で開催され、その後場所を清武文化会館に移し、10時から顕彰会主催で「安井息軒記念講演会」が開催されました。講師を清武町のご出身で、大分大学名誉教授の日高貢一郎先生にお願いし、「森鷗外 安井夫人を読む」という演題で、息軒を献身的に支え、4女2男の素晴らしい母親でもあった息軒の夫人、川添佐代の生き方や鷗外の息軒像、佐代像等について熱く語っていただきました。

終了後、13時半から宮崎市芸術文化連盟や宮崎南高等学校生徒による「詩吟・書道吟」、清武児童文化センターに通う児童らによる「ハンドベル演奏」がありました。そして最後を飾ったのは、清武の小学生(公募)による「安井息軒朗読劇」で、たくさんの観衆を感動の渦に巻き込みました。



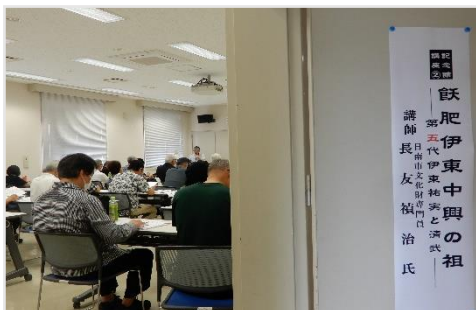
❖ 秋の企画「安井息軒と南村家」好評開催中 ❖

9月1日から秋の企画展「安井息軒と南村家」を好評開催中です。安井家は飢肥藩清武郷において、清武奉行や軍役奉行、絵図奉行などの要職を務める家柄でした。しかし息軒の祖父にあたる朝長が早世すると、たちまち安井家の家計は困窮。向学心に燃える息軒は父滄洲に遊学をしたいと相談。家にお金がなく困り果てた滄洲は、俳諧の仲間、赤江・城ヶ崎で商業を営む南村^{みなむら}患蔵に相談。患蔵も当時は決して羽振りはよくありませんでしたが、滄洲そして息軒のためならばと、親戚にも相談し、費用を用立ててくれました。患蔵はその後も折に触れて献身的に息軒の学問成就のための費用の捻出に尽力してくれました。息軒は生涯を通じて南村家への感謝の念をもち続け、晩年、依頼を受けて患蔵の碑文を書き、その一部が「城ヶ崎俳人墓地」に現存する患蔵の墓碑に刻まれています。企画展の最終日は11月5日（日）です。ご来館をお待ちしております。



第2回記念館講座 「飢肥伊東家中興の祖 第5代伊東祐実と清武」開催 ❖

9月9日、講師を日南市文化財専門官、長友禎治氏にお願いして、標記の講座を実施しました。昨年のNHKの大河ドラマでも一躍注目を集めた伊東家に関する内容で、しかも清武とも関連が深く、巨大な勢力を誇る薩摩と隣接しながらも、南九州に確かな地歩を築いた第5代祐実に関する講座ということで、たくさんの皆様に受講していただきました。



第3回記念館講座は… 諸岩則俊氏による 「伊豆 伊東を行く」 ～ 『続読書余適』の旅 ～

第3回講座の講師は、安井息軒顕彰会会員にして独自の調査で宮崎市や日南市で安井息軒展などを精力的に開催しておられる諸岩則俊氏です。かつて48歳の息軒が藩主伊東家のルーツである伊豆、伊東を旅したルートを、諸岩氏がカメラ片手にたどり、さまざまな考察を加えた興味深い講座です。まだ空きがあります。お急ぎください。

今に活きる安井息軒の言葉：息軒思想詮釈（読み直し）07

息軒は昔の人であり、その当時の社会を前提として発言しています。だから現代社会に合うように「置き換え」て解釈する必要があります。すると息軒が提言を行っている領主は、現代は主権在民ですから、有権者ということになります。臣下は領主（有権者）に選ばれるわけですから議員たち、領民は判断力がなく責任能力がなく参政権がないという点、未成年者に置き換えられます。すると息軒が説く人材論は、私たちが議員を選ぶ指針になるかもしれません。息軒は言います

〔儒教経典《尚書》の〕「敷奏以言」（敷奏するに言を以てす）とは、その人の言説によって人柄の善悪と地頭の良し悪しをチェックする方法で、治民（教育）・水害（防災）・救荒（貧困救済）・開墾（事業支援）・理財（財政）・讞獄（審理訴訟）をテーマに、どう処置するのがよいと思うかを言わせる。もちろん〔漢文（英語）で論じる必要はなく、〕いつも話している日本語でよい。そのほうが地頭の良し悪しが分かりやすい。民（若者）と国のためというところから論を組み立てているのは「正忠」の人である。もっぱら君主（有権者）のため博物を主眼として、民（若者）と国を二の次にしているのは「小忠」で、政治の全体に通じていない。そして君主（有権者）の喜びそうなことばかり主張するのは「姦人」（腹黒く悪賢い人）である。（『救急或問』、4頁）

いかがでしょう。「敷奏以言」 今一度噛みしめてみたい言葉です。（文責：青山）

安井息軒記念館バスツアーを実施します 🚌

今回の目的は新装なった延岡市の内藤記念博物館そして延岡城址周辺の見学。息軒の延岡藩の弟子には同藩の上士で、三計塾での学問を終えて帰国し、延岡藩主で後に藩知事となった内藤政拳とともに、教育や育英事業を積極的に展開し、私学校「亮天社」を設立した教育者・実業家、原時行がいます。亮天社の卒業生は無条件で慶應義塾大学に進学できたとか…。今回はその足跡にも迫ります。期日は12月9日（土）、参加費は3000円（昼食代込み）です。申し込み締め切りは11月末日、申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。



さあ、あなたも参加しませんか？お問い合わせ、お申し込みは安井息軒記念館まで ✨ ✨

🌱 みやざき三計塾開講 📖

毎年恒例となりました、みやざき三計塾がスタートします。三計塾は39歳で家族を伴って江戸に移住した息軒が翌年（天保10年、1839年）開塾した漢学塾。以来、三計塾からは谷干城や陸奥宗光、井上毅など幾多の俊英が育ちました。時は流れて令和5年（2023）、ここは宮崎市安井息軒記念館、今年も「みやざき三計塾」が開校します。あなたも息軒の代表的な著作、『論語集説』を読んでみませんか！？

講師は宮崎大学教育学部の山元宣宏准教授。基本的な解説を加えながら少しずつ読み進めていく、分かりやすい講座です。まだ空きがあります。さあ、あなたもぜひ論語の世界に身を置いてみませんか？

ファミリー息軒塾は、家族で体験を共有できる楽しい講座です ✨

今からでもお申し込みが可能、お子様だけ、1回だけのご参加も可能です。次回は12月3日、講師に宮崎国際大学の守川先生をお願いし、楽しい絵手紙を作り、それにこれまた手作りのスタンプ、落款を押します。お申し込みは記念館まで 📖



記念館支援事業

1 息軒の日イベント 盛大に ✨

9月23日(土・祝)、午前中に記念講演会、午後から清武文化会館小ホールにて息軒の日のステージ発表を行いました。

スタートは息軒に関する「書道吟と詩舞」、宮崎市芸術文化連盟清武支部の関係者と宮崎南高校の生徒に演じていただきました。続いて心に染み入るハンドベル演奏。こちらは宮崎市きよたけ児童文化センターで活動しているキッズガールの児童に奏でいただきました。「息軒先生の歌」を歌いながらの素晴らしい演奏でした。

最後は公募によって集まった清武町域の小学生とスタッフで安井息軒の朗読劇を行いました。児童から高齢者まで多くの参加者があり、「息軒の日」にふさわしいひと時でした。



2 令和5年度新規事業の古文書講座を開催しています



古文書を読みながら宮崎の歴史を学ぶものです。江戸時代の延岡藩領宮崎で起きた5ヶ村騒動の史料を、古文書と読み下し文資料を用いて、説明を繰り返し、ゆっくり解釈していきます。江戸時代の生活等を垣間見ることができる講座です。最終回は11月18日で、1回だけでも受講できます。

3 ファミリー息軒塾で「仲平豆」づくりに挑戦しました！

本年度の7回計画の3回目、10月1日は、10名の児童と保護者・家族が、息軒が大阪で苦学した時代の食事である「仲平豆(大豆と醤油で煮たもの)」づくりに挑戦しました。息軒旧宅の庭園清掃、息軒かるた体験後に、全員でおいしく！？食事しました。次回以降は12/3,1/6(息軒かるた大会参加)、2/4,そして3/3(息軒ふるさとウォークへの参加)のいずれも午前中で、1回だけでも参加できます。



4 安井息軒の著作を読み、論語を学んでみませんか！



今年度で7回目になりましたが、講師に宮崎大学の山元宣宏氏を迎え、安井息軒の著書である、「論語集説」(全て漢文で記述)について、講師と一緒に読みながら解説していきます。

10/8,10/22,10/29,11/5,11/19,11/26の全6回、日曜日の10:00-11:45原則として通しでの参加ですが、途中から、また1回だけでもご参加可能です。

5 安井息軒旧宅の清掃にボランティア参加してみませんか！？



毎回、午前8時30分から10時まで、中学生、大学生及び一般のボランティアの方々や顕彰会会員が清掃活動を行っています。

今後の計画は、10月28日、12月2日、2月10日のいずれも土曜日です。雨天延期もありますので、参加される方は事前連絡をお願いします。



中学生4名、大学生2名も参加

NPO 法人安井息軒顕彰会は、宮崎市安井息軒記念館の指定管理者として、記念館と一体となり、宮崎市教育委員会文化財課や生涯学習課と連携を図りながら、安井息軒に関する研究や顕彰活動を展開しています。お問合せ等は記念館までお願いします。

